

平成 31 年 4 月 9 日

報道機関各位

商工課長



三条市
SANJO CITY

車いすラグビー用の競技車両パーツの 国産化に本格着手

三条市は、(一社)日本ウィルチェアラグビー連盟と「競技車両パーツの供給に関する協定」を締結し、市内企業の連携による東京パラリンピックに向けた競技車両パーツの国産化、選手のパフォーマンスの向上を目指します。

1 車いすラグビー用車軸の開発

車輪を車いす本体に固定するための軸であり、現在は輸入品に頼っています。激しい接触により破損することが多いため、市内企業の技術を生かした折れにくい製品の開発を目指します。

2 車いすラグビーについて

四肢に障がいを持つ者が行う競技で、ラグビー、バスケットボール、アイスホッケーなどの要素を組み合わせでカナダで考案されました。

使用する車いすは、激しい接触に耐える必要があり、特殊な競技専用のものを使用しています。日本は 2016 年のリオパラリンピックでは銅メダルを獲得し、東京パラリンピックでもメダル獲得が期待されています。

担当:商工課 商工係 飯塚
電話:0256-34-5609